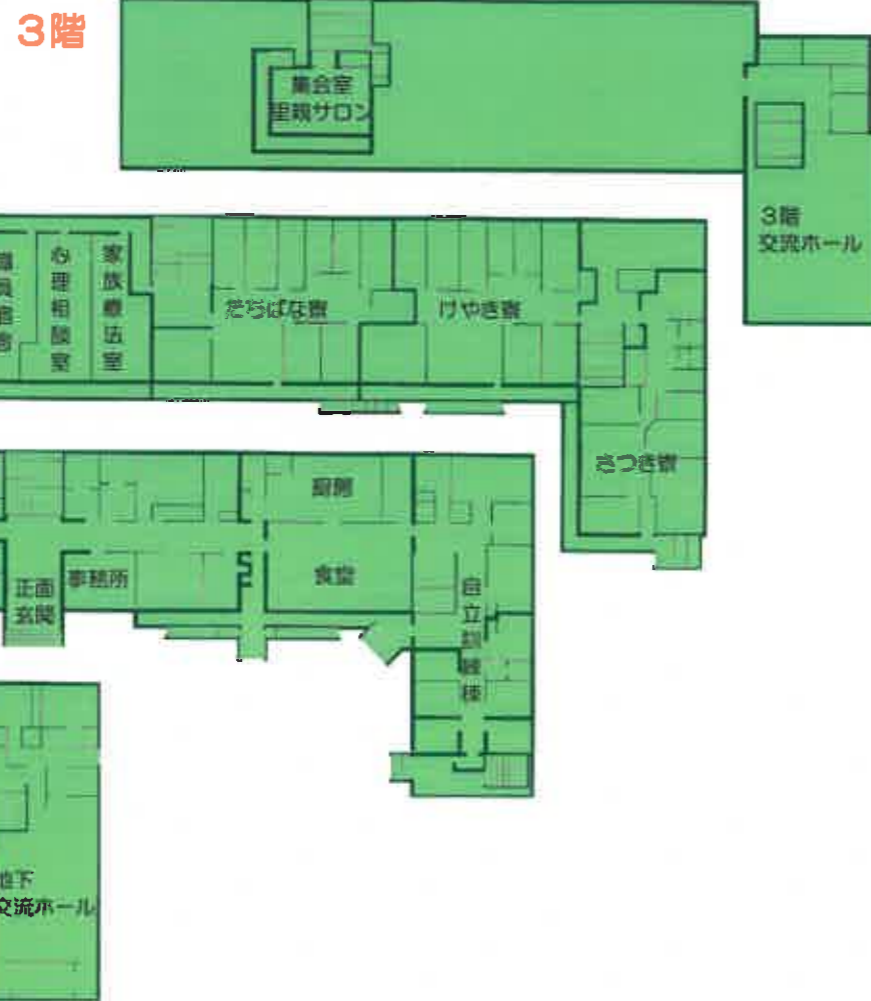
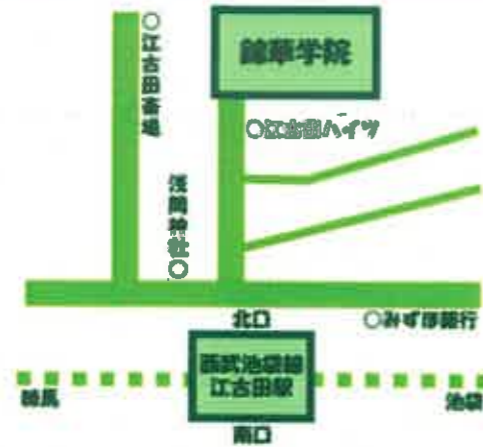


アクセス



社会福祉法人 錦華学院

〒176-0004 東京都練馬区小竹町1-60-8  
 TEL 03-3955-0988 FAX 03-3955-3255  
 E-mail kinkagakuin@m8.dion.ne.jp URL www.kinkagakuin.jp

～児童養護施設～

# 錦華学院



大きな木のように、これからもその地に根を張って、  
 たくさんの枝葉を伸ばしていきますように。  
 花のように広がった枝で、  
 子どもたちを大きく支えていけますように。  
 子どもの頃に撞れた木の上のお家、  
 子どもだけの隠れ家のように、  
 いつまでも楽しい場所でありますように。  
 花や、鳥や、猫や犬や魚  
 いろんな命が支えあって



## 施設の目的



児童福祉法に定められた児童養護施設であり、家庭の事情で、**家族が養育できない児童（乳児を除いた満1.8歳までの児童）**について、**家族にかわって養育し、心豊かで健やかな成長と、社会的自立を支援し、あわせて退所した者に対する相談、援助をすることを目的としています。**



## 沿革

明治18年10月7日	創立 東京感化院 創立者 高瀬真脚
大正3年5月19日	財団法人設立の認可を受ける
大正13年10月	渋谷の地より現在地に移転
大正14年6月7日	財団法人錦華学院と改称
昭和24年4月1日	児童福祉法による養護施設に転換
昭和27年5月20日	社会福祉法人の認可を受ける
昭和46年12月	総合院舎竣工
昭和61年4月22日	創立100周年記念式典
昭和63年4月1日	女児の入所開始
平成元年4月1日	定員を70名から50名に変更
平成4年3月31日	内部大規模改修工事竣工
平成9年4月1日	児童寮 3寮舎から4寮舎に変更
平成17年4月1日	グループホームくすの木開設 心理相談室開設
平成17年9月1日	グループホームくすの木の 地域小規模児童養護施設に変更 定員変更 本院46名 地域小規模児童養護施設6名
平成21年4月1日	専門機能強化型児童養護施設指定 家族療法事業 家族療法室開設
平成25年4月1日	里親支援事業の実施
平成26年4月1日	地域小規模児童養護施設かえで開設 定員変更 本院45名 地域小規模児童養護施設12名
平成30年4月1日	自立支援強化事業の実施
令和3年4月1日	小規模グループ地域型ホームかしの木開設

## 概要

事業種別	児童養護施設
設置主体	社会福祉法人 錦華学院
代表者	理事長 佐藤健治
所在地	東京都練馬区小竹町1-60-8
施設名称	錦華学院
施設長	院長 土田秀行
児童定員	本院45名（小規模グループ地域型ホーム含む） 地域小規模児童養護施設12名（計57名）
職員	48名 院長1名 事務員2名 保育士・児童指導員30名 職業指導員1名 家庭支援専門相談員2名 里親支援専門相談員1名 自立支援コーディネーター1名 治療指導担当職員1名 心理療法担当職員2名 栄養士1名 調理員4名 精神科医（非常勤1名） 嘱託医1名

## 施設規模

土地	4,898.86㎡	3階	299.19㎡	交流ホール 集会室 里親支援サロン等
建物	鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付3階建	2階	713.70㎡	児童寮3 家族療法室 心理相談室等
建物延べ面積	計2,185.59㎡	1階	748.80㎡	児童寮1 管理棟 食堂 自立訓練棟等
		地下	423.90㎡	地下ホール 工作室等

## 児童寮例



- ① ダイニングキッチン
- ② 幼児居室
- ③ 児童居室
- ④ 宿直室
- ⑤ トイレ・お風呂
- ⑥ 玄関

## 子どもたちの生活

こぶし寮、たちばな寮、けやき寮、さつき寮の4つの寮舎とグループホームの小規模グループケア地域型ホーム「かしの木」、地域小規模児童養護施設「くすの木」と「かえで」があり、それぞれ幼児から高校生までの男児、女児と一緒に一般の家庭に近い、安心できる、温かい生活環境の中で生活しています。そこでは、専門職である保育士と児童指導員、子どもの人権に配慮し子どもたちひとりひとりに対して自立支援計画に沿って支援をしています。また、多くの社会体験を取り入れつつ、社会的自立の促進に主眼を置いて支援しています。食事は、食文化を大切に、栄養士による栄養バランスや嗜好を考えた献立のもとに、主に調理職員が作りますが、生活体験の場として、子どもたちと各寮舎と一緒に作ったりもします。



## 学習について

基礎学力をつけることに重点を置いて、個別的な学習指導をしています。また、学習ボランティアにみてもらったり、必要によっては学塾に通うなどしています。

## 心理相談

心理療法担当職員によるカウンセリング等を実施し、子どもたちの心の安定を図ります。

## 里親支援をしています

地域の里親支援・実習生等受け入れ、アフターケア・レスパイトケア・委託の推進、普及等を行っています。

## 幼稚園への通園

幼児は3歳から3年間、私立幼稚園に通園します。

## 家族との交流

子どもとその家族への援助をするという姿勢で、家族療法室などを利用し、できるかぎり子どもと家族との交流を勧めています。職員もさまざまな相談に応じています。各寮舎では「寮舎だより」を発行して子どもたちの様子を家族の皆さんに伝え、学校の行事（入学式、卒業式、運動会など）や学院の行事への参加も積極的に勧めています。



## 子どもの自立を支援しています

個々の子どもの年齢に相应した自立の促進に主眼を置いた支援をしています。

**自立訓練支援：**自立訓練室（ぼくのへや、わたしのへや）でひとりで生活する体験をとおして、食生活、経済感覚、社会生活への適応能力などを身につけることをねらいとしています。

**職業指導：**中学生以上を対象に、職業指導員を中心して、自立に向けての生活支援、職業指導をしています。また必要に応じて、地域の職場の協力を得ながら実習もします。

**アフターケア：**施設を退所してからも再就職や悩みごとなど、施設職員がさまざまな相談に応じています。

**ファミリーソーシャルワーク：**家庭から引き離された児童とその家族の再統合を目的に家族を再構築していくための援助を行っています。

## グループホーム

### 「くすの木」「かえで」「かしの木」

地域小規模児童養護施設として平成17年4月より練馬区貫井に「くすの木」、平成26年4月より練馬区小竹町に「かえで」、小規模グループケア地域型ホームとして令和3年4月1日より練馬区貫井に「かしの木」を開設し、児童6名と職員4名が地域社会の中でより家庭的な生活を送っています。



## 子どもたちの進路

子どもたちの卒業後の就職や生活の安定をはかる意味から、それぞれの能力や希望に応じて、公立、私立、定時制高等学校、各種専門学校、職業訓練校、特別支援学校などに進学できるよう幅広い進路の選択ができるようにしています。また大学への進学や就職、アパート入居等の援助もしています。

## 造形教室

職員と子どもたちにより、工作室で自由参加で絵画、工作、陶芸等を行っています。

## 地域とのふれあいを大切にしています

**交流ホール：**地域の方々との交流の場として、交流ホールがあり気軽に利用していただいています。

**機関紙の発行：**機関紙「だんご虫」を年1回発行しています。施設への理解をいただけるよう、地域の方々にも投稿していただいています。

**地域交流行事：**地域の小学校、PTA、ボランティアグループなどの協力のもとで、毎年学院で「お楽しみ会」を行っています。また、町会をはじめ、地域の行事などにも積極的に参加しています。

**クラブコーチ：**地域の少年サッカークラブに施設職員がコーチとして参加し、地域の方々とともに活動しています。

